

2020 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	武田 春子
研究テーマ	弓削皇子の紀皇女を思ひし御歌四首について
研究概要	弓削皇子は異母妹である紀皇女に思いを寄せているが、すでに人の持ち物（人妻）であり、弓削皇子の人生と当該歌群とを無媒介に重ねて論じることの当否について検討した。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>当該歌群は、作者である弓削皇子が異母妹である紀皇女を思い詠んだ四首の歌で構成されており、それらは起承転結の構成になっている。これを一首ごとに分析し、弓削皇子の紀皇女への思いは、歌を詠むに従っても変わらずにあることを論証しようと試みた。また当該歌群が、『万葉集』巻第二の冒頭にある磐姫皇后が大鷦天皇（仁徳天皇）を思い詠んだ四首の歌で構成されている歌群と類似点があるという点をも考慮した。しかし、2020 年度内に研究成果を論文としてまとめることはできなかった。</p>
2. 今後の課題	<p>当該歌群に関しては、先行研究が少ないこともあり、なによりもまず原典の正確な解釈に努める。第一首で吉野川の流れ、第三首で住吉の朝鹿の浦、第四首で大船の泊りとあるように、川から海へと展開しており、第一首と第二首では地を、第三首と第四首では海を取り入れて対比させていることから、よく計算された歌群であることを論証したい。</p> <p>2021 年度中には、研究成果を論文または研究ノートとして公表するつもりである。</p>